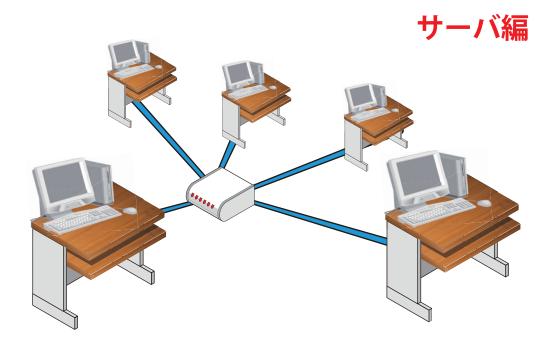
双方向プログラミング解説・操作方法





プログラミングの流れ

※生徒番号はローカル IP アドレスでも可(IP アドレスの調べ方は 5 ページを参照ください)

①「利用開始」を押し、ネットワークに参加する(P.2)



②生徒番号を入力する



③プログラムを作成する(P.3)



4「プログラムセット」を押し、プログラムを確定する

プログラムを作成・修正した時は「プログラムセット」ボタンを押すと セットした時刻が表示されプログラムが反映されます。

プログラムセット



プログラムセット

: 15時41分39秒

ネットワークグループの確認、手動設定

双方向ネットワークで通信を行う場合、同一のネットワークグループである必要があります。 もし、クラス内で同一のネットワークにない場合は手動にてネットワーク番号を指定する必要があります。

●確認方法

①利用開始をクリック

利用開始

②「その他」→「利用中のネットワーク番号」をクリックし、現在のネットワーク番号を表示

する



③ネットワーク番号が全員一致しているか確認する



利用中のネットワークが

同一の場合:そのままで使用できます。

異なる場合:下記手動設定を行って下さい。

●手動設定方法

①一度アプリを再読み込みする

Chromebook の場合:「C 」キー

Windows の場合:「F5」キー

②「その他」→「設定」をクリックし、設定画面を表示する



③ネットワーク番号を入力する(先生に確認しクラス全員が一致するようにする)



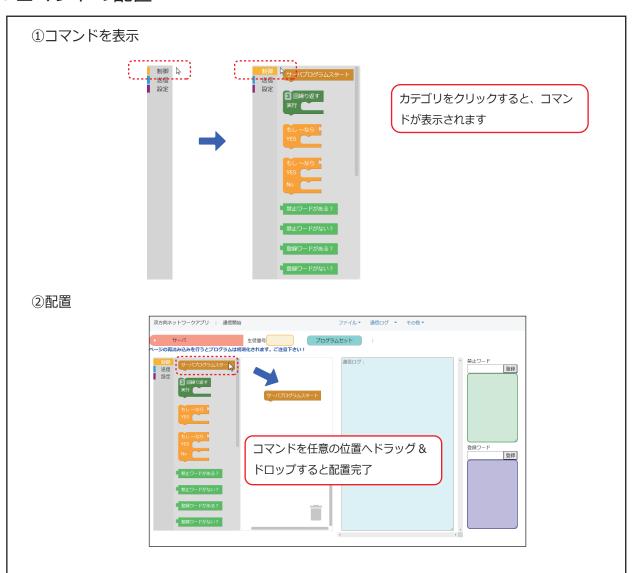
④利用開始をクリック

利用開始

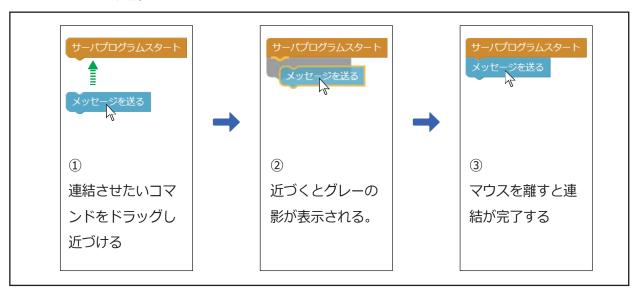
⑤上記の確認方法②③を行いネットワーク番号が一致しているか確認する

プログラムの作成

●コマンドの配置



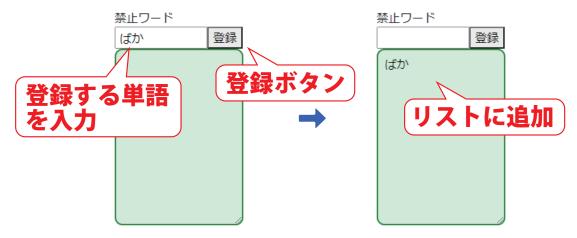
●コマンドの連結



機能について

●禁止ワード(登録ワード)

禁止ワード(登録ワード)を登録するには、テキスト入力欄に入力し「登録」ボタンを押すとリストに追加されます。



削除する場合はメニューバーの編集より削除を行って下さい。

●通信□グ

サーバに記録された通信ログはテキストファイルとして出力することができます。 メニューにある「通信ログ」をクリックし「ログの保存」をクリックすると出力する ことができます。(「ログの暗号化」にチェックを入れるとすべてのログが暗号化されます)



●保存・読み込み

お使いのハードウェア本体へ保存・読み込みする場合と、外部ファイルへ保存・読み込みする方法 の2通りあります。

用途等使い分けしてご使用ください。

●レポート作成

プログラムレポートを印刷することができます。

プログラム例

●サーバプログラム

・メッセージを通過させる

```
サーバプログラムスタート
```

・禁止ワードを含むかどうかで処理を変える

```
サーバプログラムスタート
もし ~なら く 禁止ワードがある?
YES 送信元にメッセージ エラー を送信する
No メッセージを送る
```

・登録ワードを含むかどうかで処理を変える・・送信元の生徒番号によって処理を変える

```
No 送信元にメッセージ エラー を送信する
```

・メッセージの文字数によって処理を変える

```
もし ~なら 文字数が 10 文字以上?
YES 送信元にメッセージ エラー を送信する
No メッセージを送る
```

・送信元に返送する

```
サーバプログラムスタート
送信元にメッセージ エラー を送信する
```

・パスワードが一致しているかどうかで処理を変える

```
サーバプログラムスタート
パスワードを 1234 に設定する
YES メッセージを送る
No 送信元にメッセージ エラー を送信する
```

```
YES 送信元にメッセージ エラー を送信する
No メッセージを送る
```

IP アドレスの調べ方(ローカル IP)

- ■Chromebook の場合
 - 画面右下の JA ♥ 14:22 をクリック





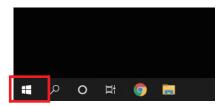
- (2) 無線 LAN をクリック(3)「①」をクリック
- (4) IP アドレスが表示されます







- ■Windows10 の場合



③ カーソル位置で「ipconfig」と入力し 「ENTER」キーを押す



(2) Windows PowerShell をクリック



(4) IP アドレスが表示されます

